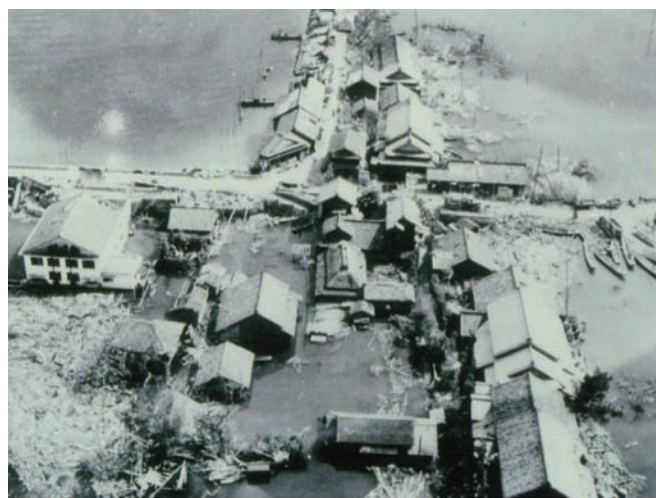


伊勢湾台風と孫宝排水機場

昭和34年9月26日に紀伊半島に上陸し、全国で犠牲者5,000人以上という甚大な被害をもたらした伊勢湾台風から今年で60年を迎えました。伊勢湾台風により市内でも床上・床下浸水計1,500宅以上の被害があり、地域の浸水は約90日の長期におよび、生活は大きな影響を受けました。現在では、市内の排水機場や排水路が整備され、伊勢湾台風で被害を受けたような大規模な浸水はなくなりましたが、一夜にして多くの尊い生命・財産が失われたことは決して忘れることはできません。また、被災から60年が経過し当時の様子を知る機会も無くなりつつある昨今、後世に語り継いでいく事が必要です。

海部津島地域は海拔0m以下であり、自然に河川に水が流れることはなく、日常から排水機による強制排水が必要な地帯です。孫宝排水機場は市内では旧佐屋町を中心に排水を担っており、これからも地域の安全・安心な暮らしの為に適切な排水機維持管理を推進していきます。

浸水により機能を失った孫宝排水機



現在の孫宝排水機場



平成30年度運転状況と経費(平成30年4月～平成31年3月)

排水機場名	排水ポンプ	運転日数	運転時間	排水費(千円)
新孫宝	2400mm 900kw 2台 (2台 Q=28m ³ /s)	178日	573時間	21,124
孫宝第2	2000mm 630kw 2台 (2台 Q=19.8m ³ /s)	148日	544時間	13,259
合計		326日	1,117時間	34,383

ゴミ処理に多大な経費がかかっています。水路へゴミを捨てることはやめましょう。

☎ 土木課 ☎(55)7125